

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2025/06/23号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



中東情勢緊迫化、70ドル台前半で売買交錯

NY原油先物相場は、1バレル=70ドル台前半をコアに売買が交錯する展開になった。不安定化する中東情勢が下値を支えたが、6月13日高値77.62ドルを上抜くまでの勢いは見られず、売買が交錯する展開になった。イスラエルとイランとの間では激しい攻撃の応酬が続いており、両国のエネルギー関連施設も攻撃を受けたと報告されている。ただし、原油供給に大きな落ち込みは確認できておらず、底固いものの伸び悩む展開になった。

日本時間6月13日にイスラエルがイランに対する「先制攻撃」に踏み切ってから1週間が経過したが、高いレベルの先行き不透明感を抱えた状態が続いている。両国の間では、ミサイルやドローン攻撃の応酬が行われており、地政学環境は急速に不安定化している。ただし、マーケットの関心は原油供給への実害の有無に集中しており、大きな供給障害が発生していない状態では、上値追いには慎重姿勢も目立った。中東情勢がどのような展開を見せるのか予想が難しく、高値波乱の展開になった。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（6月13日時点）は、原油が前週比1,147万バレル減、ガソリンが21万バレル増、石油精製品が51万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

【展望】

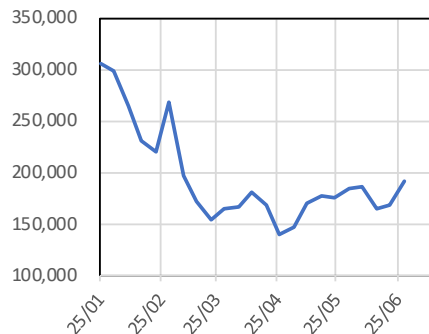
中東情勢に依存する展開が続く、上下双方にブレ幅大きい

中東情勢の展開状況に強く左右される不安定な地合が続く見通し。前週はイスラエルとイランとの間で大規模な戦闘が展開されており、トランプ米大統領は6月20日にイスラエルのイラン攻撃に加わるか2週間以内に判断を下す方針を示している。しかしその一方で、イランと米欧の外交当局者の間では協議が行われるなど、外交的な解決を目指す動きも報告されている。このためイラン情勢のヘッドラインに振り回されているが、今週も不規則な値動きが続きやすい。上下双方に大きめの値幅を想定しておく必要がある。

前週に続いてイラン産原油供給に大きな混乱が生じない場合には、このまま70ドル台前半をコアに保ち合い気味の展開が続き、逆に調整売りが膨らむ余地もある。一方、イスラエルがイランの原油輸出ターミナルを攻撃するなど原油供給の大幅な落ち込みが促される事態になると、一気に80ドル台乗せを試す可能性もある。注目すべきは、イラン産原油の供給が減少するか否かの一点になるが、イラン情勢がどのような展開を見せるのかは予見可能性が乏しい。さらに大きな混乱が生じることを想定して買い進むか、徐々に戦闘が沈静化に向かうことを想定して戻りを売るかの対応になる。

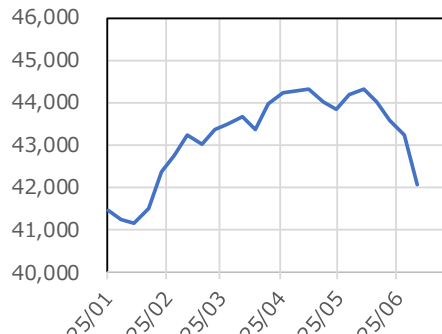
国際エネルギー機関（IEA）は6月17日に公表した月報で、大きな混乱がなければ2025年の石油市場は需要を満たすことができる潤沢な供給が見込まれるとしている。2月以降は日量100万バレルのペースで在庫積み増しが進んでいることを報告している。一方で、イラン産の輸出量が日量260万バレルあること、さらにホルムズ海峡封鎖の場合には世界石油供給の約25%が影響を受ける可能性に注意喚起が行われている。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



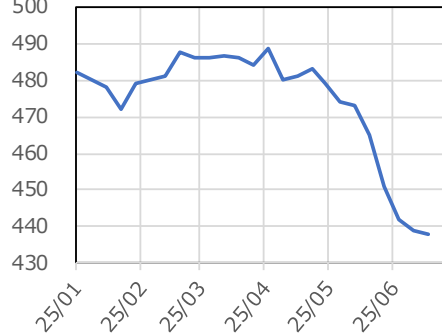
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL：03-6661-9498 【E-mail】 info@markededge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

